

科目名	コンサート概論 1							年度	2026
英語科目名	Introduction to Concerts 1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	恒枝賢治		教員の実務経験	有	実務経験の職種	エンジニア・ミュージシャン・ギタリスト			

【科目の目的】

舞台に関する知識に留まらず、「音」に関する機材や装置、現象を理解し、仕事として役立つ知識を獲得します。舞台機構調整技能士の資格の取得も目指します。

【科目の概要】

舞台音響や舞台全般の技術やシステムを学び対口。

【到達目標】

- A. 劇場や舞台、それらに関する特徴や装置について理解する。
- B. 音源、楽器など音を発する物の知識と楽譜についての理解する。
- C. 音響機器の種類、構造、機能及び用途について理解する。

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	催物のジャンルや時代背景、それに適した構造の劇場などの知識がある	劇場、舞台に関する物を理解し、それに適した催物がわかる	劇場、舞台に関する物の名称と構造、音響的な特徴がわかる	劇場の形状、舞台の構造や名称が分かる	劇場の形状、舞台の構造や名称を述べることができない
到達目標 B	楽器や音源の構造、種類を理解し、空気振動である音について詳しく理解している	楽器等の音色や種類を理解し楽譜の用語、進行も理解できる	楽器等の名称や楽譜の進行が理解できる	楽器の名称や音楽記号が読める	楽器の名称や音源について答えられない
到達目標 C	音響機器の使用目的や使用目的、構造、その効果を理解し的確に使用できる	音響機器の使用目的と効果、仕組みを理解できる	音響機器の使用目的と効果がわかる	特定の音響機器の使用目的がわかる	特定の音響機器の使用目的がわからない
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

適時プリントを配布する。

【参考資料】

授業毎のスライド資料

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		コンサート概論 1			年度	2026
英語表記		Introduction to Concerts 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	舞台機構調整技師・コンサートスタッフ	ステージシステムについて関係する仕事を知る	1 舞台機構調整技師	舞台機構調整技師の資格を把握する	3	
			2 コンサートとライブスタッフ	スタッフの種類や仕事内容を理解する		
			3 ライブとコンサート	ライブとコンサートの意味とニュアンスの違いを理解する		
2	舞台	舞台の種類・催物を知る	1 舞台の種類	写真から種類を判断し音の特徴を理解する	3	
			2 催物の種類	ジャンルや発生国・発展の過程を理解する		
			3 音の明瞭度と残響時間	催物に適した残響時間を理解する		
3	劇場	劇場の種類を知る	1 劇場の種類	劇場の種類と構造・適した催物を理解する	3	
			2 尺貫法	メートル法との違いと長さの理解		
			3 舞台の種類	舞台の種類と使用目的を理解する		
4	舞台	舞台の種類・舞台設備を知る	1 コンサートホール紹介	代表的なホールを知る	3	
			2 舞台の仕組み	舞台の構造と使用目的を理解する		
			3 舞台設備	舞台装置の名称や使用目的を理解する		
5	舞台照明	照明装置の種類や特徴を知る	1 レンズの種類	凸レンズの仕組みと種類・屈折を理解する	3	
			2 ライトの種類	ライトの名称・使用場所・使用目的を理解する		
			3 DMXについて	照明ミキサーと通信手段を理解する		
6	用語	代表的な舞台用語・業界用語を知る	1 舞台用語	舞台用語や業界用語の理解	3	
			2 稽古の手順	準備から本番までの流れと用語を理解する		
			3 キューシートやリードシート	舞台進行で使用する表や資料を把握する		
7	音源の基礎知識1	弦楽器・管楽器について知る	1 音と音楽の三要素	音と音楽の三要素の違いが分かる	3	
			2 弦楽器	代表的な弦楽器と奏法を理解する		
			3 管楽器	代表的な管楽器と分類を理解する		
8	音源の基礎知識2	打楽器・鍵盤楽器について知る	1 楽器分類学	音が発生する仕組みで分類できる	3	
			2 打楽器	代表的な打楽器と分類を理解する		
			3 鍵盤楽器	鍵盤楽器の分類と多様性を理解する		
9	音源の基礎知識3	電気楽器・電子楽器について知る	1 電気楽器	代表的な楽器と電気増幅する仕組みを理解する	3	
			2 電子楽器	音を発生させる仕組みと歴史を理解する		
			3 和楽器	雅楽を代表とする楽器の特徴や名称を理解する		
10	略記号	楽器の略記号と楽器配置を学ぶ	1 楽器の略記号	楽譜やレコーディングで便利な表記を知る	3	
			2 ドラムパーツの略記号	レコーディングで便利な表記を知る		
			3 楽器の配置	様々なジャンルの楽器編制や配置と柔軟性を習得する		
11	楽譜の基礎知識1	楽譜の進行と表記について知る	1 小節線	楽譜の基礎・小節管理ができる	3	
			2 反復記号	楽譜を最後まで追える		
			3 速度記号と標語	テンポ管理と標語での速さの意味合いを理解する		
12	楽譜の基礎知識2	音楽記号やアーティキュレーション・温度とピッチについて知る	1 アーティキュレーション	演奏方法と楽譜での指示を理解する	3	
			2 スラーとタイ	スラーとタイの見分け方・全く異なる意味出ることを理解する		
			3 熱膨張とピッチの関係	温度とピッチの変化と関係性を知る		
13	音響機器の種類・構造・機能及び用途1	マイクや回線について知る	1 ダイバーシティシステム	ワイヤレスマイクの電波と受信方法を理解する	3	
			2 エアモニター	会場の音を別の場所から確認・収録する方法を理解する		
			3 マトリックス回路	複数の入出力をルーティングする方法を理解する		
14	音響機器の種類・構造・機能及び用途2	スピーカーの用途と構造を理解する	1 モニタースピーカー	モニターの種類と用法を把握する	3	
			2 ユニットとエンクロージャー	スピーカーの構造と特徴を理解する		
			3 スピーカーシステム	複数のスピーカーで聴く音源と環境についてを理解する		
15	ノイズ	ステージ上のノイズハウリングを理解する	1 ハウリングとフィードバック	ハウリングとフィードバックの違いと仕組みがわかる	3	
			2 ノイズの種類	ノイズの種類の開き分けができる		
			3 S/N比	シグナルとノイズの比率をスペックシートで読む		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等